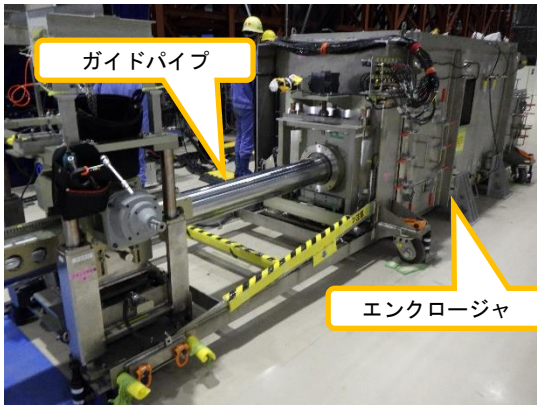

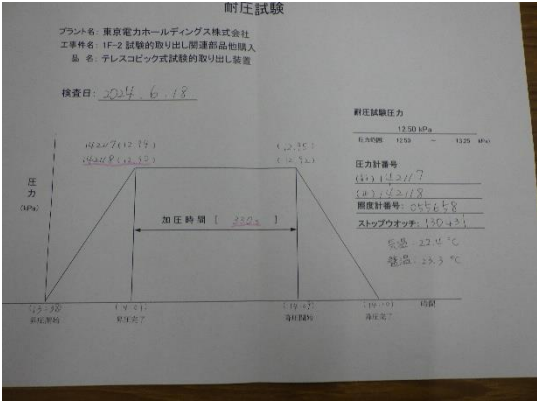
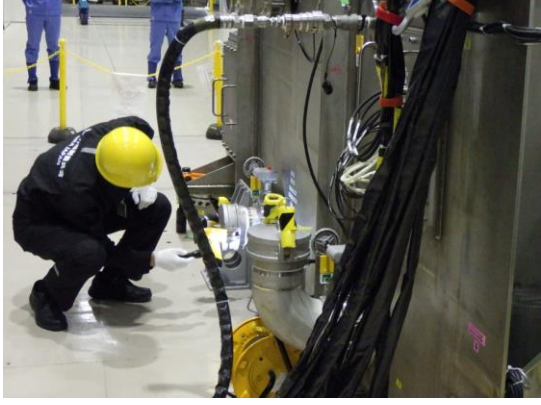






福島県原子力安全対策課 現地確認結果報告書(概要)

年月日	令和6年6月18日(火)	
項目	原子力規制委員会による燃料デブリ試験的取り出し装置の使用前検査の実施状況	
対象設備	2号機試験的取り出しに用いる設備(テレスコピック式試験的取り出し装置)	
場所	三菱重工業(株)神戸造船所	
確認結果	<p>原子力規制委員会によるテレスコピック式試験的取り出し装置(エンクロージャ及びガイドパイプ、写真1)の使用前検査(耐圧確認検査)に立ち会い、検査の実施状況を下記のとおり確認した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査に使用する圧力計等について、校正年月日や有効期限、トレーサビリティの確認が行われた。(写真2) ・ 耐圧確認検査では、最高使用圧力の1.25倍に昇圧した後、装置が同圧力に耐えているかについて確認が行われた。(写真3) ・ その後、エンクロージャ及びガイドパイプに変形等がないか確認が行われた。(写真4) 	
		
	(写真1) エンクロージャ及びガイドパイプの状況	(写真2) 使用前検査に使用した圧力計
		
	(写真3) 耐圧確認検査の結果	(写真4) 原子力規制委員会による耐圧確認検査後の装置の検査状況

福島県原子力安全対策課 現地確認結果報告書(概要)

年月日	令和6年7月17日(水)		
項目	原子力規制委員会による燃料デブリ試験的取り出し装置の使用前検査の実施状況		
対象設備	2号機試験的取り出しに用いる設備(グローブボックス(排風機、HEPA フィルタ付き))		
場所	福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋 大物搬入口2階		
確認結果	<p>原子力規制委員会によるグローブボックスの使用前検査(外観確認検査、据付確認検査、警報確認検査、負圧維持確認検査、気密性確認検査)に立ち会い、検査の実施状況を下記のとおり確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローブボックスの品質記録や、使用する計器の校正記録等について確認が行われた。 ・外観確認検査及び据付確認検査では、グローブボックスに有意な欠陥や傷がないか、また、グローブボックスが「福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画」に記載されているとおり据え付けられているかについて確認が行われた。(写真1) ・警報確認検査では、グローブボックス内が負圧状態を維持できなくなった際に、警報が発報するか確認が行われた。(写真2) ・負圧維持確認検査では、排風機を起動してグローブボックス内を負圧状態とし、一定時間経過後に、規定の負圧値が維持されているか確認が行われた。(写真3) ・気密性確認検査では、グローブボックス内の気体の漏えい率が規定値以下であり、気密性が確保されているか確認が行われた。(写真4) ・グローブボックスの周囲には局所排風機が2台あり、局所排風機の吸い込み口をグローブボックスの燃料デブリ受入口と払出口付近に設置することにより、管理エリア外への放射性ダストの飛散抑制対策が取られていた。 		
			
	(写真1) 外観確認検査、据付確認検査の状況	(写真2) 警報確認検査の状況	
			
	(写真3) 負圧維持確認検査の状況	(写真4) 気密性確認検査の状況	

福島県原子力安全対策課 現地確認結果報告書(概要)

年月日	令和6年7月31日(水)
項目	原子力規制委員会による燃料デブリ試験的取り出し装置の使用前検査の実施状況
対象設備	2号機試験的取り出しに用いる設備(テレスコピック式試験的取り出し装置)
場所	福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋及びコントロールルーム

原子力規制委員会によるテレスコピック式試験的取り出し装置(エンクロージャ及びガイドパイプ)の使用前検査に立ち会い、検査の実施状況を下記のとおり確認した。

- ・ 検査確認項目は次のとおり。

確認事項	確認項目	確認内容
構造	外観確認	各部の外観を確認する。
	据付確認	機器の据付状態を確認する。
性能	漏えい確認	原子炉格納容器圧力で加圧し、同圧力にて漏えい量を確認する。

※ 福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画(以下「実施計画」という。)より

- ・ 2号機原子炉建屋での検査前に、エンクロージャ及びガイドパイプの品質記録や検査で使用した計器の校正記録、計器番号等の机上確認が行われた。
- ・ 試験的取り出し装置を遠隔操作するコントロールルームにおいて、原子炉建屋内に設置されたカメラによる、現場監視体制について確認が行われた。(写真1)
- ・ 2号機原子炉建屋おける外観確認検査では、装置外観の欠陥や傷等の有無について、据付確認検査では、実施計画どおりの据付となっているか目視による確認が行われた。
- ・ 漏えい確認検査は、エンクロージャ内に窒素ガスを封入し、規定の時間経過後の圧力や温度の変化から漏えい量を算出し、許容漏えい量以下であるか確認が行われた。(写真2)(写真3)
- ・ 検査は、コントロールルームのモニターで2号機のプラントパラメータ等に異常がないか確認しながら進められていた。(写真4)

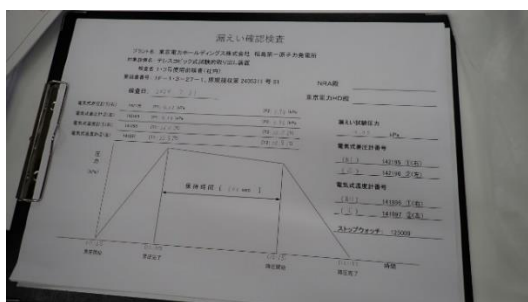
確認結果



(写真1) 現場監視体制の確認状況



(写真2) 漏えい確認検査の確認状況



(写真3) 漏えい確認検査の状況



(写真4) 使用前検査中のプラントパラメータの状況